

(公財)長野県産業振興機構は、長野県からの受託事業「信州ITバレー構想推進事業（推進協議会運営事業）」の一環として、本事業を実施しています

産業DX推進事業で見えた 成果と課題

参加
無料

ー長野県の支援事例と現場の声ー

長野県産業振興機構は、「信州ITバレー構想」のもと、県内産業の競争力強化に向けた取組の一つとして、産業DX推進に取り組み、県内企業のデジタル化・DXを支援してきました。

本イベントは、これまでの成果や課題を共有するとともに、支援を受けた企業の取組や意思決定、進め方を発表していただき、パネルディスカッションを行います。支援事例をもとに、企業・支援機関・IT事業者それぞれの立場で、今後の取組や支援のヒントを持ち帰っていただきたいと思います。

プログラム

時間	内容
13:00	開始・挨拶
13:05	オープニング・趣旨説明
13:15	市場調査から見える長野県企業のDX事情
13:25	ミニセミナー 信州ITバレー推進協議会推進マネージャー 高島卓也 「DXとは？DXの失敗事例から学ぶ」
13:45	産業DXコーディネーター支援事例① テマ：ベンダーとのマッチング 産業DXコーディネーター 角田孝x(有)かーいんてりあ高橋様
14:45	休憩
14:55	産業DXコーディネーター支援事例② テマ：企業内DXの進め方 産業DXコーディネーター 西村元男xコトブキ通商(株)様
15:55	産業DXの相談窓口の紹介
16:00	クロージング（本日のふり回り）
16:10	名刺交換等

本イベントのポイント

- ・産業DX推進事業の取組内容と支援の考え方
- ・支援を通じて見えてきた主な成果と課題
- ・ソリューション提供会社とのマッチングや企業内DXの実践事例
- ・これから産業DXを進めるための視点

支援事例について

産業DXコーディネーター 角田孝



ノーコードツールに強みを持つベンダーとのマッチングを通じて、課題整理から目指す姿の共有を行い、クラウド型システム導入に至った支援の進め方やポイントについて、産業DXコーディネーターが紹介します。

産業DXコーディネーター 西村元男



産業DXコーディネーターによる支援をきっかけに紙中心の業務からIT基盤整備、社内の意識改革を経て、アプリ内製に取り組む体制へと進んだ企業内DXのプロセスについて、支援の視点から振り返ります。

対象者

- ・デジタル化・DXに悩む企業の経営者や担当者
- ・デジタル化・DXに係る支援機関の職員
- ・産業DXに関与する関係機関・IT事業者

日 時

令和8年2月18日（水）13:00～16:30 受付12:30～

場 所

ホテル信濃路 穂高（長野市中御所岡田町131-4）※オンラインあり

定 員

会場 50名 オンライン 50名

お申込みはこちら

締切：令和8年2月16日（月）

<https://forms.gle/fa96unWqQpddDgQD6>



主 催

長野県
(公財)長野県産業振興機構

問い合わせ先

(公財)長野県産業振興機構 ITバレー推進部
026-217-1635 it-valley@nice-o.or.jp